

アサヒマレットゴルフ場のこれまでの経過と現状等について

1 これまでの経過

(1) 施設概要

- ・アサヒマレットゴルフ場は平成 2 年にオープン。
- ・敷地面積は 49,139 m²、管理棟（休憩室・トイレ・事務室）1 棟・東屋 1 棟。
- ・18 ホールからなるマレットゴルフ場で、山がまるごとコースになっているような広さが特徴。天然の地形をうまく利用し、アップダウンを楽しめるレイアウトになっている。
- ・水道水は、水道本管の水を貯水槽へポンプアップし供給している。

(コース図)



(2) 利用料金等

- ・平成 20 年度から利用料は無料化、これに伴い管理棟は無人とした。平成 24 年度から任意で協力金をお願いしている。
- ・貸し道具（スティック・ボール）は無料。
- ・使用期間は、4月中旬から11月中旬まで。

2 現状と課題

(1) 利用者数の推移

- ・利用者数は平成4年度の18,045人をピークに年々減少し、近年は約1,000人前後の利用となっている。(4ページ参照)
- ・利用者の内訳は、村内者数名と地区の体育デー等による利用が主で、村外からの利用はごくわずかとなっている。

※地区体育デー利用実績

H30年度 8地区(190名)、R元年度 4地区(108名)、
R2年度 1地区(50名)

(2) 収支

- ・平成20年度から利用料を無料化、平成24年度から協力金(任意)をいただいている。
- ・現在の収入は協力金のみで、年1万円前後の収入。
- ・支出は、コース整備(草刈り、倒木処理、整地等)、光熱水費、借地料等、年間約200万円の経費が必要。



(R3.10月末現在)

(直近の収支明細)

項目		令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)
収入(協力金)		18,288	3,300
支出	消耗品	49,788	3,865
	電気料	166,133	151,230
	水道料	19,840	19,040
	シルバー委託料 (コース整備、倒木処理等)	597,687	488,632
	ポンプ管理委託料	55,000	55,000
	コース転圧委託料	89,100	89,100
	し尿汲取り	0	16,680
	借地料	943,400	943,400
	修繕費	0	19,000
支出計		1,920,948	1,785,947
差引き(収入-支出)		△1,902,660	△1,782,647

(3)課題

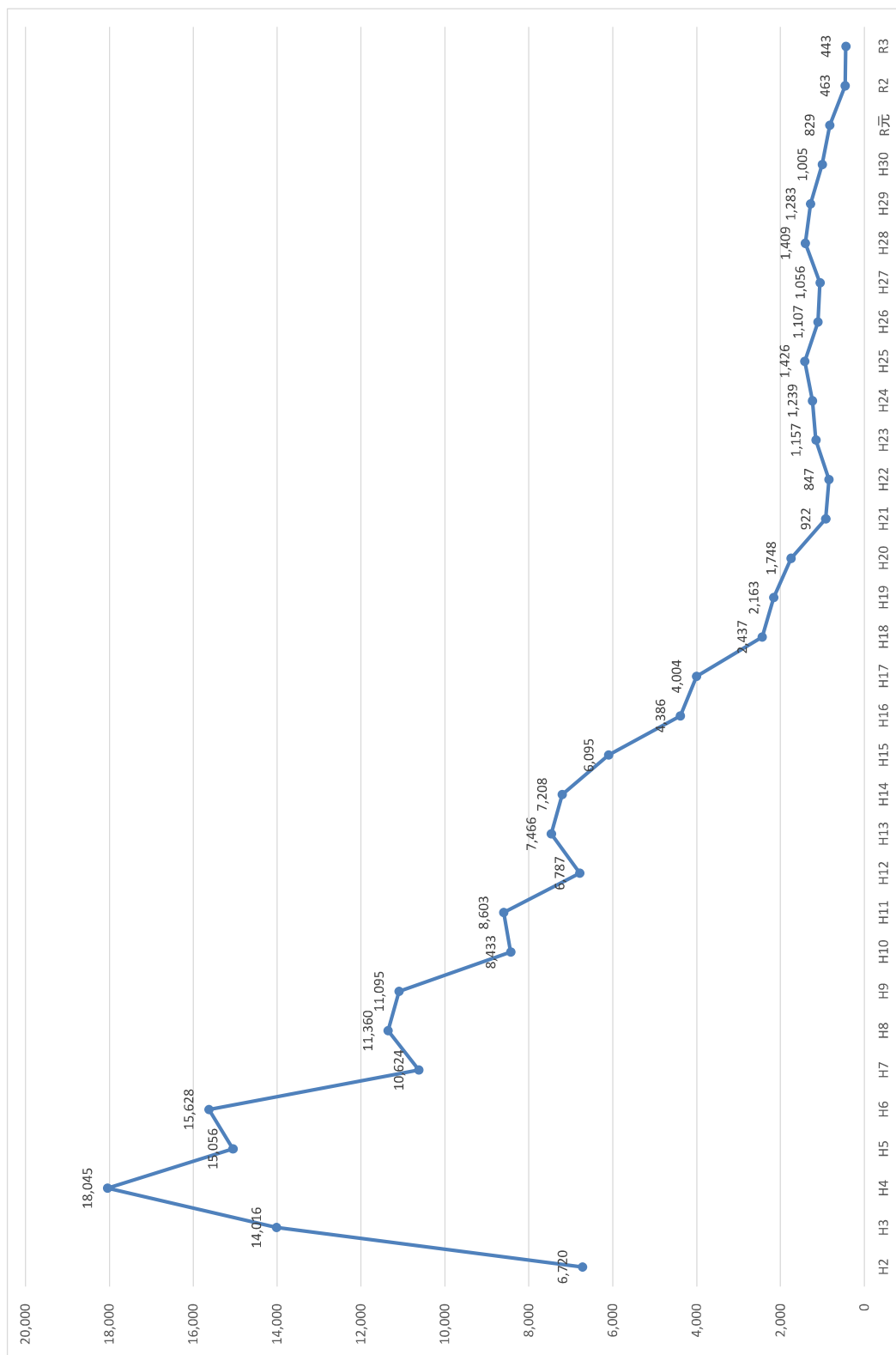
- ・マレットゴルフ人口の減少や盛んだった時代の利用者が高齢となり、高低差がある山間のコースよりも近隣の平地のコースを利用する方が増えている。
- ・利用料を無料としており、観光施設として収益を上げる施設ではない。
- ・マレットゴルフ場は広く村外から誘客し、村内における宿泊や買い物などへの波及効果が見込める施設でないため、観光施設としての役割を果たせていない。今後もその可能性は低いと思われる。
- ・利益を求めない施設と考えても、村民利用が少なく、広く村民の福祉向上につながっているとはいえない。
- ・毎年、施設の維持に200万円前後の経費が必要となっている。
- ・水道用送水ポンプが経年により老朽化しており、部品がなく修繕が不可能であるため、500万円程度の更新費用が必要となる。

3 村の方向性

- ・利用者が少なく、維持管理経費も毎年大きくかかっている。また今後マレットゴルフの人气が復活し、村の産業や福祉の向上につながる可能性は低いと思われる。村としては廃止の方向で検討したい。

アサヒマレットゴルフ場利用客数（利用開始：平成２年３月２０日）

年度	利用者数（人）
H2	6,720
H3	14,016
H4	18,045
H5	15,056
H6	15,628
H7	10,624
H8	11,360
H9	11,095
H10	8,433
H11	8,603
H12	6,787
H13	7,466
H14	7,208
H15	6,095
H16	4,386
H17	4,004
H18	2,437
H19	2,163
H20	1,748
H21	922
H22	847
H23	1,157
H24	1,239
H25	1,426
H26	1,107
H27	1,056
H28	1,409
H29	1,283
H30	1,005
R元	829
R2	463
R3	443





(管理棟)



(植栽)



(コース)



(アウトコース東屋・貯水槽)



(駐車場入口看板)



(インコース休憩所※使用不可)



(送水ポンプ室)



(貸し道具)